

環境学習みえ

2013年6月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／水谷 いずみさん（高松干潟を守る会） 2013 No.53

夏

海と陸の生き物があふれる
「高松干潟」



海と陸の生き物があふれる「高松干潟」

伊勢湾奥部に位置する高松海岸には、朝明川河口とその右岸に約28ヘクタールの砂質の干潟が広がっています。まわりは工業地帯に囲まれながら、今も自然に近い状態で残る「高松干潟」は、多様な生き物であふれています。



▲高松海岸の全長 500m の海岸線には 5～6月、ハマヒルガオの群落が一斉に花を咲かせます。

北勢地域に残る 貴重な自然海岸の干潟

かつて川越町から四日市市北部にかけては、長く広い海岸が続いていました。天カ^{あまが}須賀^{すか}、富田浜、霞ヶ浦、午起地区^{うまおし}には、白砂青松といわれる海岸線が続き、東海地方でも有名な海水浴場として知られていたそうです。またハマグリやシシビ(イソシジミ)などの漁も盛んで、海苔の養殖はこの地域の代表的な産業として栄え、人々の暮らしと深い結びつきをもってきました。

しかし、昭和34年の伊勢湾台風で大きな被害を受けたのち、海岸線には堤防が築かれ、さらに埋立地の造成により、この一帯は工業地帯として生まれ変わっています。

そのなかで今も残っているのが、地元から「諸戸の海岸」と呼ばれ親しまれてきた川越町

干潟とは？

海では潮の満ち引きによって、ほぼ一日に二回、干潮と満潮が繰り返されています。その潮が引いたときに「干し上がる場所」を「干潟」と呼びます。

干潟は川から運ばれた土砂が堆積し、長い年月をかけて形成されてきた場所です。



干潟には河口付近にできる「河口干潟」のほかに「前浜干潟」、「潟湖干潟」とよばれるものがあり、それぞれの地形や環境によって干潟が作られます。

お話を伺った人



高松干潟を 守ろう会

代表
みずたに
水谷 イズミ さん

海岸線と干潟の保全を行うことを目的として、平成13年に発足しました。現在、メンバーは15名で、自然保護から海岸清掃や海岸線調査などの活動をしています。また干潟の大切さを伝えるため、自然観察会や地域の学校への出前授業なども行っています。

高松干潟を守ろう会 ホームページ
<http://takamatuhigata-kawagoe.jimdo.com/>

の高松海岸です。現在も潮干狩りスポットとして、人々の憩いの場として、多くの人がこの高松海岸の干潟を訪れます。そこで今回は「高松干潟を守ろう会」の水谷さんにお話を伺いました。

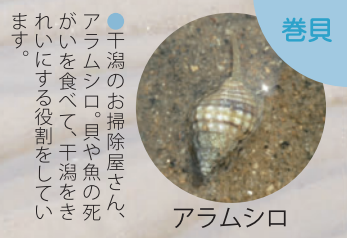
鳥たちにとって、干潟は採食・休息の場。
春と秋の渡りの時には、貴重な中継地になります。



干潟の表面にある、たくさんの穴や足あと…
干潟にはどんな生き物がいるのでしょうか。



- イソシジミは水管が非常に長いので、アサリやハマグリよりも深いところへ潜ります。高松干潟でよく採れる貝で、地元では「シシビ」とも呼ばれています。
- 潮干狩りで人気のアサリ。殻の色や模様はさまざまで、地域によって異なります。
- サビシラトリガイが見つかりました。伊勢湾沿岸河口域では、生息する個体数が少ないといわれています。



- 干潟のお掃除屋さんアラムシロ。貝や魚の死がいを食べ、干潟をきれいにする役割をします。



- ゴカイにはさまざまな種類がいます。シギ・チドリ類などの渡り鳥はくちばしを砂中に突っ込んで餌となるゴカイを探します。



- ヒメハゼやマハゼは干潟でよく見られる魚です。
- イシガレイやボラ類などの仔稚魚は、水の浅い干潟を成育の場とします。



- アナジャコは砂中に深い巣穴をつくり、巣穴はY字型のような構造をしています。
- 前歩きするカニ!? マメコブシガニ。巣穴は作らず、干潟の表面で生活しています。



- 砂団子職人、コメツキガニ。ハサミで砂を口へ運び、有機物をより分けて食べたあと、残った砂をダンコ状にして捨てます。体色は砂に似ていて、敵から身を隠しています。

海の入口「干潟」

陸から海へつながる干潟には、多様な生き物が暮らしています。海の生き物にとっては成育の場として、豊かな海を育む「ゆりかご」になります。

また干潟には、海を浄化する重要な役割があります。川の水がそのまま海へ流れると、富栄養化が進み、海の環境を悪化させる原因になります。干潟があることで陸から流れ込んだ栄養分は一旦、干潟へと蓄積され、二枚貝やゴカイなどがそれを分解して、水を浄化しています。

水谷さん「干潟の環境を守ること、海の環境を守ることへもつながっています」。

平成25年5月12日 高松干潟を守る会 主催

「干潟まつり」開催！

一般の参加者とイオンチアーズクラブ
四日市北店のこどもたち、100名近くが
高松海岸に集まりました。



マテガイって
どんな生き物？



エイの仲間



アカクラゲ



危険な生き物には触らないで！

▲干潟には、エイやクラゲ類などの毒をもつ生き物もいます。砂の中に隠れていることがあるので、干潟を歩くときは裸足やサンダルなどは避けましょう。



干潟には
おもしろい発見が
いっぱい！

みんなで海岸の清掃活動



▶みんなで協力して、たくさんのごみを拾いました。流木、缶、ペットボトルなどの漂着ごみや海岸に持ち込まれたごみもありました。これからは海岸をきれいにし、干潟の環境を守っていきましょう。

この日、参加者が体験したのは、「マテガイ採り」です。マテガイは干潟の深いところで暮らす、細長い貝殻の二枚貝です。まず水谷さんは、手作りの紙芝居を使って、こどもたちに「砂の中のマテガイの生活」についてお話をしました。マテガイの巣穴は、楕円形をしているのが特徴です。巣穴の奥には、マテガイを捕まえるためには、塩を使います。採り方のコツを教えてくださいました。さっそく干潟へ出発です！

マテガイ採りに挑戦！

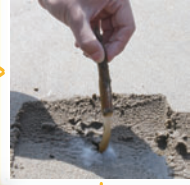
①表面を少し削って
マテガイの巣穴探し



②穴に塩をふりかける



③又ルーっと、マテガイが
顔を出したら、ゆっくり
ひっぱりよう！



採れたー!!



マテガイのほか、イソシジミやアサリなどの貝もたくさん見つかり、潮干狩りにも夢中になりました。大人よりも視線の低いこどもたちの方が、生き物を見つけるのが得意です。潮だまりには、歩くマメコブシガニや、じっと潜むハゼの姿も見つけることができました。ほとんどの干潟の生き物は、砂や泥の中に隠れています。マテガイやニホンスナモグリのように巣穴を深くまで掘る生き物は、干潟の中に酸素を取り入れ、干潟を活性化させる働きをしています。さらに「人が潮干狩りや水遊びで砂や泥を掘り返すことで、人も生き物と同じように干潟の働きに大いに貢献しているんだよ」と水谷さんに教えてもらいました。



小さな生き物を
育てよう！

◀2cm以下のアサリ、3cm以下のハマグリなどは、持ち帰らないようにしましょう。



「生き物見つけシート」
に記録しました

干潟の楽しみは、生き物を知ることからはじまる

水谷さんが干潟の保全をしていこうと思うようになったのは、地域の人と一緒にする清掃活動が始まりでした。干潟へ行くうち、「カニの巣穴を見つけたら…、ここには想像する以上に色々な生き物があるんだ」ということに気づいたそうです。さらに、海岸線に集まる生き物について知りたいたいと思う気持ちが少しずつ湧き、干潟

を観察するうちに、楽しみへと繋がっていきましました。そして、この豊かな自然を次の世代へ伝え、残していきたいという想いで、現在も活動を続けています。

水谷さん「この干潟で遊んだこともたちが大人になって、自分のことを連れていきたいと思ったときに、この場所がそのまま残っていたらいいなあと思います。」

また砂浜には、ウミガメの上陸も確認されています。かつて高松海岸の沖では、漁をしていると、ウミガメが目撃されることもあったそうです。今後もウミガメが来ることができるところとしても残していきたい海岸です。



写真は、平成4年に高松海岸で発見されたウミガメです。このあと元気に海へと帰っていきましました。それ以降は、平成15年と平成23年に上陸・産卵が確認されています。



人と自然が触れ合える場所「干潟」

近年、産業が発達するなかで四日市市北部や川越町の海岸も、四日市港として総合的に海岸整備が行われ、かつてのような砂浜も海浴場の面影も消えてしまいました。

そんななか現在も残っている高松海岸の干潟には、多様な生き物があふれ、豊かな海を育む生態系が成り立っています。

今回、高松海岸を訪れてみて、このような自然がわたしたちの身近なところに残っていたんだ、と少しの驚きを感じました。干潟での生き物探しや潮干狩りなどの体験は、希薄になったともいわれる、わたしたち

と海との関わりを再び繋げてくれるものになると思います。「生き物の宝庫」ともよばれる干潟は、人と自然が触れ合うことのできる貴重な場所でもありました。

最後に、環境学習情報センターでは高松海岸にて、夏休み子ども環境講座「干潟の観察会」を開催します。実際に干潟へ出かけて、どんな生き物がいるか探してみませんか。親子でのご参加お待ちしております。

写真提供 「高松干潟を守る会」水谷いずみさん
「なたね通信」榎枝正史さん

夏休み子ども環境講座

干潟の生き物探検隊！

参加費
無料

貝の浄化実験や干潟の役割についてのお話を聞いたあと、干潟で生き物を観察します。

日時 8月21日(水) 9:30~12:00

会場 川越町・高松海岸(集合:高松干潟・朝明川河口右岸)
*悪天候時は川越町上古公民館集合

講師 高松干潟を守る会

対象 小学1年生から中学生まで(保護者同伴)

募集人数 親子で40人 *幼児の参加はご遠慮ください

申込方法 「夏休み子ども環境講座」の申込方法は、他講座と異なります。

7月初旬頃、センターホームページでご案内します！



湿地のグリーンウェイブ2013

「湿地のグリーンウェイブ」とはラムサール・ネットワーク日本の主催による湿地保護全国キャンペーンです。
毎年4月~6月、全国各地で湿地保護のさまざまなイベントが開催されます！

ラムサール・ネットワーク日本「湿地のグリーンウェイブ」
<http://www.ramnet-j.org/>



イラスト:松本 悟



四日市市立塩浜中学校 「水質チェック・見学」

平成25年4月25日(木)

環境学習推進員の
脇谷奈美が
担当しました!



地球上の全ての水の中で
私たちが生活に使える水
はどれくらいでしょう?



測定の前に、水がとても貴重で
あることを、クイズを交えながら
お話ししました。

今回は自然教室の一環として、環境学習情報センターへ来館してくれた塩浜中学校1年生45名の体験学習のようすをレポートします。この日は「水質チェック」と「展示ホールの見学」を行いました!

「水質チェック」では、みなさんが準備してくれた調べたい水の汚れ具合をCOD(化学的酸素要求量)パックテストを使って調べます。

自分の持ってきた水は、はたしてきれいなのか? 測定の前に予想を立ててから行いました。

自分の予想とは違った
結果にびっくり!



水を入れたパックテストは、水の汚れ具合によって色が変わります。色見本を使ってCODの数値を測定します。

1日にこんなに水を使ってるんだ~!!



水質チェックの後、水環境のコーナーにある、触れて学べる展示で復習中!

測定の結果、食器を洗った水やお米を研いだ水など、みなさんが生活の中で使った水は、雨水や川の水などの自然の水より汚れているということが分かりました。

そこで、生活排水をなるべく汚さずに流すアイデアを班ごとに考えてもらいました。「食器の油は拭き取ってから洗う」「洗濯のときに洗剤を使わずにすすぎ」「お米のとき汁は植物にかける」など、たくさんの方の方法を発表してくれましたよ。とてもいいアイデアがたくさん出たので、どれかひとつでもいいので自分にできることを見つけて続けてくださいね。

センターまたは、県内各地への出前で、
どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体験講座」をご利用ください。

「水質チェック」

時間 60分~90分 人数 50人まで

対象 小学4年生以上

持ち物 調べる水(100ml程度)

【報告 環境学習推進員 脇谷奈美】

その後は、「展示ホールの見学」をしました。展示ホールは「水」「ごみ」「地球温暖化」「森林」「生物多様性」の環境テーマにわかれています。各班が、それぞれ事前に決めたテーマに添って調べ学習をしました。しおりにたくさん書き込みをして、学習を深めている姿に、とても感心しました。

みなさんが今日学んだことを生かして、行動に移してくれることを期待しています。みんな頑張れ~!

環境・体験講座

買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、地球温暖化防止と省エネルギー講座、自然体験(自然観察、星のはなし、バードウォッチング、水生生物調査)、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel(059)329-2000までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。



主催：三重県環境学習情報センター 後援：三重県教育委員会

かんきょう絵手紙 ～届けよう！私のちょっとエコ～



大募集



作品：絵手紙講師 岡 昭子氏

自然・地球温暖化・環境汚染・ごみリサイクル・省エネルギーなどをテーマに、日頃感じていること・心がけていることなどを「絵と言葉」にしてください。あなたの想いを絵手紙に託してみませんか？みなさまからのたくさんのご応募をお待ちしています。

平成25年

●募集期間 **7月20日(土)～10月31日(木)** ●対象 三重県在住の小学生以上



最優秀賞

小・中学生の部 1点 賞状と副賞(図書カード1万円)
高校生・一般の部 1点 賞状と副賞(図書カード1万円)

優 秀 賞…小・中学生の部 1点 賞状と副賞(図書カード5,000円) / 高校生・一般の部 1点 賞状と副賞(図書カード5,000円)
入 選…小・中学生の部 2点 賞状と副賞(図書カード2,000円) / 高校生・一般の部 2点 賞状と副賞(図書カード2,000円)
佳 作…小・中・高・一般の中から若干名 副賞(エコグッズ)

【注意事項】

応募作品の著作権・所有権・使用权は、三重県環境学習情報センターに帰属し、当センター及び三重県の刊行物やホームページなどで使用することがあります。

●作品は返却しません。 ●応募は自作の未発表作品および手書き作品に限ります。

●ひとり2点まで応募できます。 ●画材は問いません。

●「はがき」または「はがきサイズ」(縦14.0～15.4cm × 横9.0～10.7cm)の紙を使用してください。

※郵便事業株式会社発行の郵便はがきと同じサイズです。私製はがきの場合は、このサイズに合ったものにしてください。

●専用の応募票(チラシ裏面掲載、またはホームページからダウンロード)を貼って、郵送してください。

※**専用の応募票でのみ、受付します。お申込み方法の詳細についてはお問合せください！**

環境活動の
PRができる!

今月の企画展示

平成25年度
出展者募集中!



12月

四日市ウミガメ保存会

「再びウミガメが産卵にくるような砂浜に」との思いから2009年1月から早朝に四日市市楠町にある吉崎海岸で清掃活動と勉強会を行っています。



1月

三重県立四日市西高等学校
自然研究会The Waders

学校周辺の豊かな湧水に育まれた里山環境に生息する動植物の調査研究、絶滅危惧種の保護、生息環境の保全などを行っています。



2月

三重県下水道課
財団法人 三重県下水道公社

下水道はふだん見えないものですが街を清潔に保ち、川や海を汚さないようにするなど、みなさんのくらしを支える大切な役割を担っています。



3月

積水ハウス株式会社
三重支店

2008年に住宅業界では初めて「エコ・ファースト企業」として認定され、「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」など環境保全に関する取組みを約束しています。



4月

なたね通信

四日市公害の歴史を語り継ぐ活動をしている団体です。四日市公害や環境問題について語り部や、冊子・ブログ・展示などでの情報発信、自然観察会なども行っています。



5月

海蔵川探検隊・うみくら

四日市市の中心部を流れる海蔵川(かいぞうがわ)の自然環境を観察し、楽しみながらよく知り、考え、必要なら保護・保全することを目的に発足した団体です。

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座

PLT (プロジェクト・ラーニング・ツリー)
指導者養成セミナー 8月25日(日)開催

会場	松阪市嬉野ふるさと会館 多目的ホール	締切	7月30日(火)
内容	植物を中心とした環境教育プログラムを使える指導者を養成します。*テキスト代必要		

スキルアップ講座

絵本を持って出かけよう!!
～自然のふしぎと絵本の旅～ 7月27日(土)開催

会場	津市河芸公民館 第1研修室	締切	7月4日(木)
内容	絵本を使って、子ども達に自然の不思議やしぐみについて伝える手法を学びます。		

環境学習指導者養成講座

インタープリター養成講座
11月17日(日)・11月24日(日)・12月8日(日)・12月15日(日)開催

会場	三重県上野森林公園	締切	10月17日(木)
内容	自然のしくみや、価値などをわかりやすく伝える人(インタープリター)を養成する講座です。		

スキルアップ講座

ヒメタイコウチ観察会 8月3日(土)開催

会場	桑名市嘉例川 <small>かれがわ</small>	締切	7月2日(火)
内容	絶滅危惧種であり、天然記念物にもなっているヒメタイコウチの生態や生息地の保全についてお話をうかがい、ヒメタイコウチを観察する予定です。		

環境工房

牛乳パックでつくるカルトナーージュ
～鉛筆たてをつくろう～ 9月16日(月・祝)開催

会場	三重県環境学習情報センター 分析実習室	締切	8月20日(火)
内容	カルトナーージュとは厚紙で組み立てた箱に布などを貼り付けて仕上げるフランスの伝統的な手芸です。厚紙のかわりに牛乳パックを使って作ります。		

スキルアップ講座

野生動物との共存
～ニホンザルの生活を通して～ 9月14日(土)開催

会場	三重県生涯学習センター 中研修室	締切	8月17日(土)
内容	NPO法人サルどこネットの活動を通して、ニホンザルの生態と特徴、獣害の現状とその原因、獣害対策、ニホンザルと人間の共存について学びます。		

夏休み子ども環境講座 全10回開催!

対象	小・中学生 (講座によって学年制限あり)	締切	7月22日(月)
会場	講座によって異なります	申込み方法	往復ハガキのみ受付

- ① 8月4日(日) 空き缶でつくるキャンドルホルダー
- ② 8月6日(火) おサルさんの生活を知ろう
- ③ 8月8日(木) 水のことを知ろう!
- ④ 8月10日(土) 自然エネルギー教室
- ⑤ 8月11日(日) 四日市公害を知ろう
- ⑥ 8月17日(土) 牛乳パック望遠鏡を作って月を見よう!
- ⑦ 8月20日(火) 買い物ゲームとリサイクルセンター見学
- ⑧ 8月21日(水) 干潟の生き物探検隊!
- ⑨ 8月23日(金) 環境バスツアー 行き先 青山高原ウィンドファーム 伊勢二見メガソーラー光の街
- ⑩ 8月24日(土) 牛乳パックで紙すきをしよう

*詳しくは7月初旬頃にホームページに掲載します

スキルアップ講座

生態学シリーズ「利己的な遺伝子」
③ 9月14日(土) ④ 12月7日(土) ⑤ 2月8日(土) 開催

会場	三重県総合文化センター内	締切	チラシ参照 *お問合せください
内容	③利他行動の仮面・血縁淘汰 ④母と子・女は弱い? されど母は強い ⑤雄と雌 ※①②は終了しました		

環境イベント

Mie子どもエコフェア 7月20日(土)・21日(日)開催

内容	鈴鹿山麓リサーチパーク周辺を会場にして、県内最大級の環境イベントを開催! 環境について楽しく学べるブースが約50ブース集まる予定です。*詳細は決まり次第、こちらのブログ(http://ecofairs.sblo.jp/)にてご案内します
----	---

環境イベント

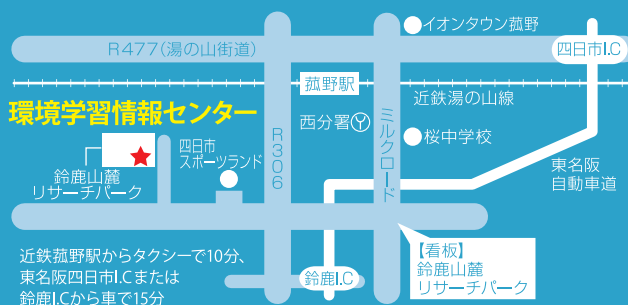
秋のキッズエコフェア 9月28日(土)・29日(日)開催

講座予定

イベント予定

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



Facebook @eco_zou